

グラスファイバーネットは、ジルコニア入りの時代。

TAGNET

耐アルカリグラスファイバーネット



TAGNETの材料

■耐アルカリ、耐酸性特性

試験項目	TAGネット	Eガラス	
耐アルカリ性 重量減少率(%) (セメント飽和水溶液、80℃ 200時間)	0.7	10.5	
耐酸性 重量減少率(%) (10% HCl、80℃ 90時間)	0.9	42.9	
耐酸性 重量減少率(%) (10% H ₂ SO ₄ 、80℃ 90時間)	0.7	42.0	

■絡み編みによる特性

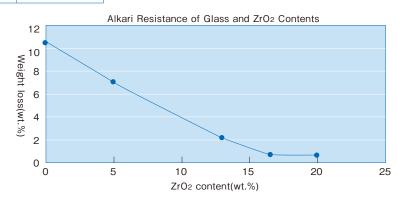
TAGネットをセメント飽和水溶液に200時間放置 し、アルカリ成分により縦糸と横糸の間の接着剤 が溶解し、状態を維持するかの確認。

※モルタルの水分によるモルタル塗り作業中に ほどけることはありません。



■ ジルコニア(ZrO₂)の含有率と 耐アルカリ性の関係について

ジルコニア(ZrO₂)の含有率と耐アルカリ性の関係を右図に示す。右図からも分かるように、ジルコニアの含有率が15%を超えたところから耐アルカリ性は0.1%(耐アルカリ重量減少率)以下となる。TAGネットは、コストを配慮して**16.5%**に設定しています。



■TAGネットの規格

品番	質量	原反質量	目間隔	規格		厚み	引張強度 (N/50mm)	
	g/m²	g/m²	縦×横 (mm)	幅(mm)	長さ(m)	(mm)	縦	横
TGA150-5×5	150	136	5×5	1,000	50	0.4	1200<	1200<
耐火条件	130<	_	4×4~ 10×10	_	_	0.3<	1000<	1000<

TAGNET 施工要領

保管上の注意点

日射時の養生ビニール中や締め切った車中のような高温の場所での放置は避けて下さい。寝かせず、立てて保管して下さい。

施工前(TAGネットの裁断)

塗付けに先立ち、張りやすいようにTAGネットを裁断します。(目安 最長約1.8m)

■一般部

一般部は、モルタルの上塗り施工後、ムラを取り、直ちに全面に張り残しがないように、裁断したTAGネットを張付け、ネットの浮きがなくなるようにコテでなじませて下さい。塗りの締まり具合を見て作業を行います。約1~2mm厚程度に伏込み、ムラを取り、平坦に押さえて仕上げます。

TAGネット伏込み

左官こて押え又は、

ネット伏込専用こて

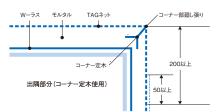


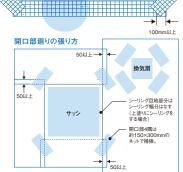
■ 掃き出し口下部等

■コーナー部

出隅入隅部分はいずれもTAGネットを廻し張りとし、200mm以上廻して下さい。出隅でコーナー定木を使用する場合は、特にコーナー部分でネットの浮きがないよう、かつネットに傷が付かないようにていねいに張って下さい。







〒587-0062 大阪府堺市美原区太井47番地 TEL:072-361-5434(代) FAX:072-361-6406